

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膀胱癌に対するラミニン 単鎖の治療前後での変動を評価する研究の追加観察研究
	研究目的	膀胱癌の診断は膀胱鏡以外に確実な早期発見方法の手段はないが、 1) ラミニン 2 単鎖(2 単鎖)が膀胱がんの含む種々の悪性がんで特異的に発現していること、2)膀胱癌患者尿に 2 単鎖が多量に存在していることを見出し、 2 単鎖をバイオマーカーとした新たな膀胱癌の早期診断法を開発している。先行研究では血中、尿中の 2 単鎖が膀胱癌治療後の再発をモニターするバイオマーカーとなりえるか検討しており、さらに観察期間を延長して、研究の精度を高めていきたい
	研究対象者	先行の臨床研究(膀胱癌に対するラミニン 単鎖の治療前後での変動を評価する研究)に参加された患者
	研究期間	西暦 2019 年 5 月 29 日～西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	泌尿器科 岸田 健
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	共同研究機関：高知大学医学部泌尿器科 研究代表者：執印 太郎